

数理・データサイエンス・AI教育プログラムの2025年度自己点検・評価について

プログラム構成科目である「情報処理リテラシー」と「データサイエンスリテラシー」の2科目に関する修得者数やリテラシーレベルの修了者数、授業アンケートの結果を基に点検評価を実施しました。

<点検方法>

- ・履修データから各科目の履修者数、修得者数を算出し、数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)修了者数を確認した。
 - ・CCSの授業アンケート機能で回答がされた結果を基に理解度、興味関心、満足度を中心に確認した。
- ※数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)修了者数および授業アンケートの詳細結果は、別紙のとおり。

■数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)修了者数

- 数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)の修了状況を確認すると、過去3年間(2023~2025年度)で本教育プログラム対象の2科目を履修した人数は960名、修了した人数は753名であり、履修可能な学生全体に対する修了率は15.6%であった。

[2025年度] 履修者数(2科目とも履修) : 339名 修了者数(2科目とも修得) : 243名

[2024年度] 履修者数(2科目とも履修) : 321名 修了者数(2科目とも修得) : 254名

[2023年度] 履修者数(2科目とも履修) : 300名 修了者数(2科目とも修得) : 256名

- 2023~2025年度の3年間の学部別修了者数の推移を確認すると、経済学部は2024年度に109名と最も多かったが、2025年度は47名と大きく減少している。一方、経営学部は2024年度30名から2025年度92名へと大幅に増加しており、年度によって学部ごとの修了者数に大きな変動がみられた。全体の修了者数は2023年度256名、2024年度254名、2025年度243名と、緩やかな減少傾向にある。

- 2023~2025年度の3年間合計で学部別修了率を確認すると、経営学部が39.4%と最も高く、次いで経済学部が23.7%、国際文化学部が17.2%、法学部が15.3%、商学部が15.0%となった。一方、現代社会学部は6.3%、スポーツ健康学部は7.5%、リハビリテーション学部は0.4%と低水準であった。

- 学部別修了者数の構成をみると、経済学部(203名)、商学部(121名)、経営学部(122名)3学部で全修了者数753名の約60%を占めている。一方、スポーツ健康学部(33名)、現代社会学部(34名)、リハビリテーション学部(1名)は修了者数が少なく、学部間でプログラム修了状況に大きな差がみられた。

■授業アンケート結果

- 興味関心に関する質問に対し、「情報処理リテラシー」は87.6%、「データサイエンスリテラシー」は95.0%の学生が興味を持ったと回答し、「理解・修得」に関する質問に対しては、「情報処理リテラシー」は95.2%、「データサイエンスリテラシー」は92.5%の学生が理解が高まったと回答している。また、記述式のアンケートでも「将来の仕事や大学生活で活用できる実用的なパソコンスキルを学ぶことができ、社会に出た際にも即戦力として役立つ知識を身につけるこ

とができた。(情報処理リテラシー)」などの回答があり、授業内容を理解し、スキルを身につけられていることが分かる。

- 「総合的にみて、この授業の内容に満足しているか」の質問に対して、「情報処理リテラシー」は 94.5%、「データサイエンスリテラシー」は 95.0%の学生が満足していると回答していることから、後輩等他の学生への推奨度が高いことが分かる。
- 「教員は学生が授業内容に興味を持つように工夫していた。」の質問に対して、「情報処理リテラシー」は 92.0%、「データサイエンスリテラシー」は 92.5%の学生が興味を持つよう工夫されていたと回答している。
- 「授業における適切な教材・資料の提示が理解を促した。」の質問に対して、「情報処理リテラシー」は 90.1%、「データサイエンスリテラシー」は 90.0%の学生が授業における適切な教材・資料の提示が理解を促したと回答している。また、記述式のアンケートでは、「学生の理解度に応じて授業の進行ペースが調整されており、全員が内容を理解したうえで次に進む構成となっていたため、安心して授業に取り組むことができた。(情報処理リテラシー)」、「スライドや動画を用いた解説が分かりやすく、内容を視覚的に理解しやすい授業だった。説明も簡潔で、初めて学ぶ内容でも理解しやすかった。(データサイエンスリテラシー)」等の回答があった。
- 前年度と比較すると、「情報処理リテラシー」についてはすべての項目で平均値が上昇した。一方、「データサイエンスリテラシー」は全項目で前年度を下回ったものの、依然として各設問で高い評価を維持していることが分かる。総合的にみると、2025 年度も両科目において高い満足度と学修成果が得られている結果となった。

■今後の取り組み

授業アンケートの結果から本教育プログラムの構成科目である「情報処理リテラシー」、「データサイエンスリテラシー」の授業内容は履修者から好評であった。2025 年度の修了者数は 243 名で、3 年間での修了者数の合計は 753 名となり着実に人数を増やしている。一方で、対象科目を履修できるカリキュラムは 27 生以降のカリキュラムのみであるため、大学全体の修了率としては約 12%である。(全学年が対象者となる次年度の 2026 年度には大学全体の本教育プログラム修了率 16%程度となる見込み。) 修了率向上には、選択科目であるオンデマンド形式の「データサイエンスリテラシー」の履修者数を増やすことが必要である。しかし、学生からの質問対応や課題の採点・評価に要する負担を考慮すると、オンデマンド授業であっても履修者数に一定の上限を設けざるを得ない状況にある。これらの対応として、質問に対する生成 AI を活用したチャットボットの導入や、課題採点の自動化、評価方法を多段階評価ではなく、「合格」「不合格」といった形式に見直すことなどが考えられる。

また、今後は「応用基礎レベル」の取得も視野に入れ、数理・データサイエンス・AI 分野に強みを持つ大学として社会的に認知されることを目指し、申請に向けた準備を段階的に進めていく。

以上

●数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)修了者数

表1. 情報処理リテラシー修得者数

学部	2025年度			2024年度			2023年度		
	履修者数	修得者数	修得率	履修者数	修得者数	修得率	履修者数	修得者数	修得率
経済学部	295	286	96.9%	284	272	95.8%	279	271	97.1%
現代社会学部	175	172	98.3%	185	177	95.7%	184	175	95.1%
商学部	228	224	98.2%	224	214	95.5%	356	342	96.1%
経営学部	163	160	98.2%	147	147	100.0%	-	-	-
法学部	191	181	94.8%	196	182	92.9%	206	195	94.7%
外国語学部	153	146	95.4%	153	144	94.1%	163	147	90.2%
国際文化学部	180	176	97.8%	164	151	92.1%	202	195	96.5%
スポーツ健康学部	134	122	91.0%	134	130	97.0%	172	166	96.5%
リハビリテーション学部	89	86	96.6%	87	86	98.9%	90	90	100.0%
合計	1,608	1,553	96.6%	1,574	1,503	95.5%	1,652	1,581	95.7%

表2. データサイエンスリテラシー修得者数

学部	2025年度			2024年度			2023年度		
	履修者数	修得者数	修得率	履修者数	修得者数	修得率	履修者数	修得者数	修得率
経済学部	72	47	65.3%	128	109	85.2%	49	47	95.9%
現代社会学部	17	16	94.1%	14	12	85.7%	9	6	66.7%
商学部	14	11	78.6%	32	28	87.5%	89	82	92.1%
経営学部	112	92	82.1%	31	30	96.8%	-	-	-
法学部	17	13	76.5%	32	22	68.8%	67	56	83.6%
外国語学部	31	15	48.4%	32	20	62.5%	30	19	63.3%
国際文化学部	35	27	77.1%	28	21	75.0%	56	46	82.1%
スポーツ健康学部	40	21	52.5%	23	12	52.2%	0	0	-
リハビリテーション学部	1	1	100.0%	1	0	0.0%	0	0	-
合計	339	243	71.7%	321	254	79.1%	300	256	85.3%

表3. 数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)修了者数

<数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)の修了条件>
 「情報処理リテラシー」と「データサイエンスリテラシー」の両方を修得することでリテラシーレベルを修了となる

学部	2025年度	2024年度	2023年度	合計	プログラム対象者数	学部別修了率
経済学部	47	109	47	203	858	23.7%
現代社会学部	16	12	6	34	544	6.3%
商学部	11	28	82	121	808	15.0%
経営学部	92	30	-	122	310	39.4%
法学部	13	22	56	91	593	15.3%
外国語学部	15	20	19	54	469	11.5%
国際文化学部	27	21	46	94	546	17.2%
スポーツ健康学部	21	12	0	33	440	7.5%
リハビリテーション学部	1	0	0	1	266	0.4%
合計	243	254	256	753	4,834	15.6%

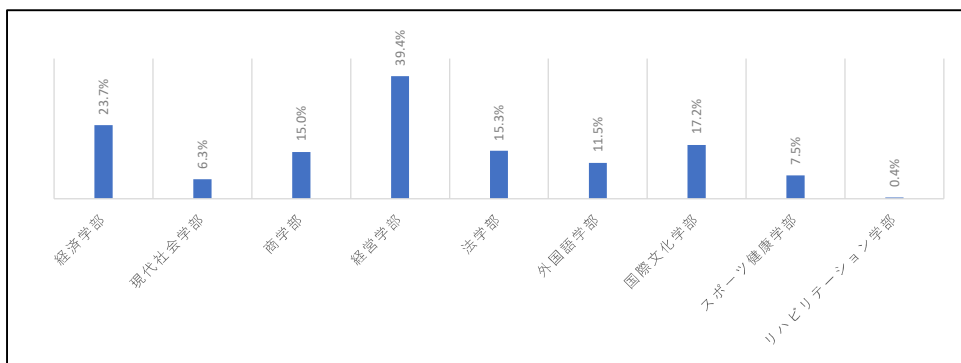


図1. 2023年度以降入学生の学部別数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)修了率

● 授業アンケート結果

表4. 情報処理リテラシーアンケート結果

<2025年度> 回答数：1,486名／履修者数：1,608名 回答率：92.4%
 <2024年度> 回答数：1,399名／履修者数：1,574名 回答率：88.9%
 <2023年度> 回答数：1,496名／履修者数：1,652名 回答率：90.6%

※平均値は、5点満点で算出

設問7.	選択肢	2025年度	2024年度	2023年度	2025年度 平均値	2024年度 平均値	2023年度 平均値
授業／教材 授業における適切な教材・資料 の提示が理解を促した。	5) そう思う	56.1%	56.0%	56.9%	4.44	4.41	4.43
	4) ややそう思う	34.0%	32.3%	31.8%			
	3) どちらとも言えない	8.2%	9.3%	9.5%			
	2) ややそう思わない	1.4%	1.7%	1.2%			
	1) そう思わない	0.2%	0.6%	0.5%			
	無回答	0.1%	0.0%	0.1%			
設問13	選択肢	2025年度	2024年度	2023年度	2025年度 平均値	2024年度 平均値	2023年度 平均値
授業／組立 教員は学生が授業内容に興味 を持つように工夫していた。	5) そう思う	65.1%	63.0%	66.2%	4.55	4.50	4.57
	4) ややそう思う	26.9%	26.4%	26.1%			
	3) どちらとも言えない	6.9%	8.7%	6.8%			
	2) ややそう思わない	0.8%	1.1%	0.4%			
	1) そう思わない	0.1%	0.7%	0.5%			
	無回答	0.2%	0.1%	0.1%			
設問17	選択肢	2025年度	2024年度	2023年度	2025年度 平均値	2024年度 平均値	2023年度 平均値
授業／興味関心 授業に関連する内容に、さらに興 味・関心を持つようになった。	5) そう思う	60.5%	56.3%	61.0%	4.44	4.38	4.44
	4) ややそう思う	27.1%	30.5%	26.7%			
	3) どちらとも言えない	9.3%	9.8%	9.2%			
	2) ややそう思わない	2.0%	2.1%	2.0%			
	1) そう思わない	1.0%	1.4%	1.1%			
	無回答	0.1%	0.0%	0.1%			
設問18	選択肢	2025年度	2024年度	2023年度	2025年度 平均値	2024年度 平均値	2023年度 平均値
授業／理解・修得 この授業を通じて、新しい知識や 技能を得たり、理解が深まった。	5) そう思う	68.6%	69.1%	72.1%	4.63	4.62	4.67
	4) ややそう思う	26.6%	25.4%	23.9%			
	3) どちらとも言えない	4.0%	4.5%	3.1%			
	2) ややそう思わない	0.4%	0.5%	0.7%			
	1) そう思わない	0.2%	0.4%	0.2%			
	無回答	0.1%	0.1%	0.1%			
設問21	選択肢	2025年度	2024年度	2023年度	2025年度 平均値	2024年度 平均値	2023年度 平均値
総合／満足度 総合的にみて、この授業の内容 に満足している。	5) そう思う	68.0%	65.8%	68.8%	4.61	4.57	4.63
	4) ややそう思う	26.5%	26.7%	26.3%			
	3) どちらとも言えない	4.4%	6.2%	4.2%			
	2) ややそう思わない	0.7%	0.9%	0.5%			
	1) そう思わない	0.1%	0.4%	0.2%			
	無回答	0.1%	0.0%	0.0%			

記述回答

良かった点

- ・説明が丁寧で分かりやすい授業：
一つ一つの操作について段階的に丁寧な説明が行われ、スライドやスクリーンを用いた実演も分かりやすかったため、パソコン操作に不慣れな学生でも安心して理解を深めることができた。
- ・分からない人を置いていかない手厚いサポート：
教員が教室内を回りながら学生一人一人の進行状況を確認し、わからない点があればその場で個別に対応してくれるため、授業に遅れることなく学習を進めることができた。
- ・授業のペース配慮と安心感：
学生の理解度に応じて授業の進行ペースが調整されており、全員が内容を理解したうえで次に進む構成となっていたため、安心して授業に取り組むことができた。
- ・実践的で将来に役立つ内容：
WordやExcel、PowerPoint など、将来の仕事や大学生活で活用できる実用的なパソコンスキルを学ぶことができ、社会に出た際にも即戦力として役立つ知識を身につけることができた。
- ・タイピングカ・PCスキルの向上を実感：
毎回の授業でタイピング練習が実施されており、継続的な取り組みによってタイピング速度や正確性の向上を実感できたほか、パソコン操作全般に対する自信につながった。

改善点

- ・授業進行スピードへの配慮：
授業の進行がやや早く感じられる場面があり、操作説明や重要なポイントについて、もう少しゆっくり進めてほしい。
- ・資料・説明方法の補足：
操作手順やショートカットキーについて、スライドや一覧資料など、後から確認できる視覚的な補足が欲しい。
- ・学習環境・設備面への改善
Wi-Fi環境の不安定さや、端末・画面表示の違いにより一時的に授業についていきにくい場面があった。

平均値年度比較

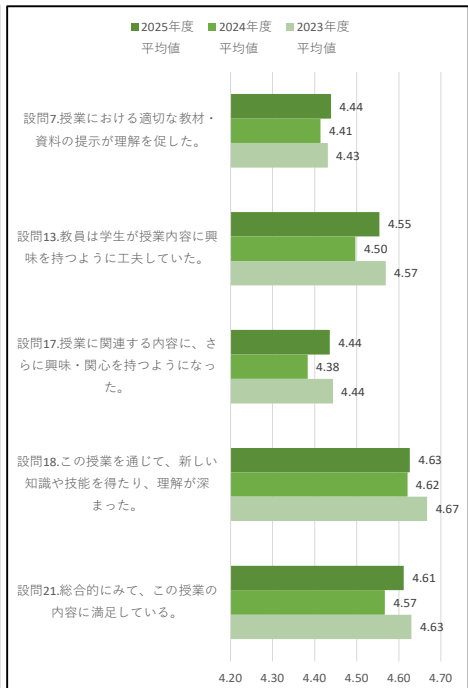


表5. データサイエンスリテラシーアンケート結果

<2025年度> 回答数：40名／履修者数：339名 回答率：11.8%
 <2024年度> 回答数：96名／履修者数：321名 回答率：29.9%
 <2023年度> 回答数：130名／履修者数：300名 回答率：43.3%

※平均値は、5点満点で算出

設問7.	選択肢	2025年度	2024年度	2023年度	2025年度 平均値	2024年度 平均値	2023年度 平均値
授業／教材 授業における適切な教材・資料 の提示が理解を促した。	5) そう思う	60.0%	61.5%	51.5%	4.08	4.43	4.27
	4) ややそう思う	30.0%	25.0%	32.4%			
	3) どちらとも言えない	7.5%	11.5%	10.7%			
	2) ややそう思わない	0.0%	0.0%	2.4%			
	1) そう思わない	2.5%	1.0%	3.2%			
	無回答	0.0%	1.0%	0.0%			
設問13	選択肢	2025年度	2024年度	2023年度	2025年度 平均値	2024年度 平均値	2023年度 平均値
授業／組立 教員は学生が授業内容に興味 を持つように工夫していた。	5) そう思う	65.0%	49.0%	47.8%	4.23	4.24	4.07
	4) ややそう思う	27.5%	28.1%	23.9%			
	3) どちらとも言えない	7.5%	21.9%	18.4%			
	2) ややそう思わない	0.0%	0.0%	7.7%			
	1) そう思わない	0.0%	1.0%	2.4%			
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%			
設問17	選択肢	2025年度	2024年度	2023年度	2025年度 平均値	2024年度 平均値	2023年度 平均値
授業／興味関心 授業に関連する内容に、さらに興 味・関心を持つようになった。	5) そう思う	55.0%	52.1%	47.8%	4.03	4.27	4.05
	4) ややそう思う	40.0%	30.2%	24.6%			
	3) どちらとも言えない	2.5%	14.6%	18.4%			
	2) ややそう思わない	0.0%	0.0%	4.5%			
	1) そう思わない	2.5%	2.1%	4.0%			
	無回答	0.0%	1.0%	0.8%			
設問18	選択肢	2025年度	2024年度	2023年度	2025年度 平均値	2024年度 平均値	2023年度 平均値
授業／理解・修得 この授業を通して、新しい知識や 技能を得たり、理解が深まった。	5) そう思う	62.5%	56.3%	50.8%	4.10	4.44	4.30
	4) ややそう思う	30.0%	32.3%	35.4%			
	3) どちらとも言えない	2.5%	10.4%	10.1%			
	2) ややそう思わない	0.0%	1.0%	1.6%			
	1) そう思わない	2.5%	0.0%	1.6%			
	無回答	2.5%	0.0%	0.8%			
設問21	選択肢	2025年度	2024年度	2023年度	2025年度 平均値	2024年度 平均値	2023年度 平均値
総合／満足度 総合的にみて、この授業の内容 に満足している。	5) そう思う	67.5%	57.3%	46.9%	4.23	4.44	4.14
	4) ややそう思う	27.5%	31.3%	31.7%			
	3) どちらとも言えない	0.0%	9.4%	13.0%			
	2) ややそう思わない	0.0%	2.1%	5.4%			
	1) そう思わない	2.5%	0.0%	3.2%			
	無回答	2.5%	0.0%	0.0%			

記述回答

良かった点

- 資料・映像を用いた説明が分かりやすい：
スライドや動画を用いた解説が分かりやすく、内容を視覚的に理解しやすい授業だった。
説明も簡潔で、初めて学ぶ内容でも理解しやすかった。
- オンデマンド形式による学習のしやすさ：
オンデマンド方式の授業であるため、場所や時間を問わず自分のペースで学習できた。
分からない部分は巻き戻して何度も確認でき、理解を深めやすかった。
- 考える力を養う課題内容：
レポートや課題を通して、自分なりに考える機会が多く設けられており、様々な観点から物事を捉える力を身につけることができた。
- データサイエンスへの理解の広がり：
データサイエンスについて、数値分析だけでなく、質的な視点も含めて考えることができると知り、これまでのイメージが変わった。
- 学修の定着につながる授業構成：
毎回レポート課題が設定されていることで、学習内容を継続的に振り返ることができ、知識の定着につながった。

改善点

- 音声環境（マイク音量・音質）の改善：
オンデマンド授業において、マイクの音量が小さい、音声が聞き取りにくいと感じる場面があった。

平均値年度比較

